

2020 2020 2020 2020 たより



東京2020オリンピック・パラリンピックの「今」を
お知らせする組織委員会オフィシャル通信

vol. **12**

特集① \ Welcome to Japan /

東京2020

ほぼ1年前カレンダー

特集② \ お出かけシーズン到来! /

東京2020の

種を見つけに行こう!

東京2020大会の魅力をフカボリ!
パラサイクリング(ロードレース)

知れば納得!
聖火リレートーチのこと。



1年前カレンダー

東京が56年ぶりの開催都市に決まったのは2013年9月。日本全国が興奮に包まれた日から、5年半が経ちました。そして、いよいよ来年に迫った東京2020大会。これからの1年は、イベントが目白押し。大事なタイミングを逃さないように、今からカレンダーにチェックを入れておいてください!



東京2020公式アンバサダーが盛り上げる!



東京2020聖火リレー公式アンバサダーの田口亜希さん

聖火リレーを全国で盛り上げるため、東京2020聖火リレー公式アンバサダーが就任。オリンピックの野村忠宏さん、パラリンピックの田口亜希さん、女優の石原さとみさん、漫才師のサンドウィッチマンさんの4組5名の皆さんになります。今後、東京2020聖火リレーをより多くの方に知ってもらうための広報活動に参加いただきます。

トーチデザインとエンブレムが決定



オリンピックトーチの色は「桜ゴールド」で、パラリンピックトーチは「桜ピンク」。上部から見ると桜の形をしており、5枚の花びらから生まれた炎がトーチ中央でひとつになる設計。
*P7にトーチの特集があります。

左)東京2020オリンピック聖火リレートーチ
右)東京2020パラリンピック聖火リレートーチ

東京2020オリンピック聖火リレーコンセプト

Hope Lights Our Way
希望の道を、つなごう。

東京2020パラリンピック聖火リレーコンセプト

Share Your Light
あなたは、きっと、誰かの光だ。

オリンピックとパラリンピックは、聖火リレーのコンセプトも実施の仕方異なります。大会開催に向けて、全国を盛り上げていきます。

すぐに楽しめるイベントもたくさん

地元の祭りやイベントでも、東京2020で盛り上がります! ぜひ参加してみてください。



東京五輪音頭は、1964年と2020年バージョンを踊り比べるのも楽しい

2019年5月以降 オリンピックチケット抽選申込開始

2019年夏 パラリンピックチケット販売開始

あなたに合った東京2020大会情報をピックアップ! 「My TOKYO 2020」では、東京2020大会の観戦チケット情報や公式ライセンス商品、あなたにおすすめのイベント情報をご紹介します。さらに関連イベントがより一層楽しくなる「TOKYO 2020 PASS」をもれなく発行。ログイン後にコンテンツをお楽しみいただけます。

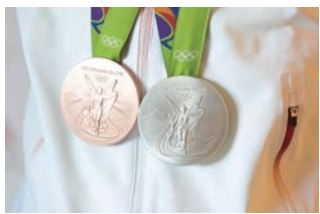
*詳細は公式サイトやメールマガジン等の情報をご確認ください。



My TOKYO 2020
*時期により内容は変更になります。

想いがつながるメダル製造中

小型家電から集めたリサイクル金属を使ってメダルを作る「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」。3月末で約5,000個の金・銀・銅メダルを作るために必要な量が集まりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました! 既に製造は始まり、デザインは2019年の夏に発表予定です。



7月24日(水) オリンピック1年前

8月25日(日) パラリンピック1年前



いよいよ東京2020大会の1年前! 大会をみんなで盛り上げていくために、各地でさまざまな取り組みが予定されています。イベント等の情報は随時更新されていきますので、お見逃しなく!

オリンピック2年前イベント

Welcome to Japan

東京2020ほぼ

2020



ロンドン2012大会

開会式・閉会式

野村萬斎さんを中心に、日本を代表するクリエイターとともに創り上げます。4つの式典は一連の4部作として構成。世界の注目が東京に集まります!

3月20日 ■ 聖火が日本に到着!

聖火が宮城県にある航空自衛隊松島基地に着きます。

3月20~25日 ■ 被災地で「復興の火」展示

聖火は「復興の火」として、宮城県・岩手県・福島県で展示。

3月26日 ■ 福島県「Jヴィレッジ」からスタート

聖火は復興の象徴的な施設から全国を巡り、開会式に最終ランナーが聖火台に点火。大会が終わるまで灯し続けられます。



リオ2016大会

パラリンピック聖火リレー

東京都とパラリンピック競技開催県(埼玉県、千葉県、静岡県)で実施。その他の道府県はそれぞれ採火などによって参加。

オリンピック聖火リレー

3月12日 ■ ギリシャ採火式



© 2017 / IOC

聖火は、オリンピア市で太陽光から採火。その後、3月12日~19日の間、ギリシャ国内でリレーされ、3月19日にアテネ市での聖火引継ぎを経て、日本に運ばれます。

ライブサイトも各地で実施!

大型スクリーンでライブ映像を観て、みんなと一緒に声援を送るのも楽しいもの。ぜひ近くのライブサイトに出かけて大会の臨場感を味わってください!



リオ2016大会時の東京のライブサイト



キャッチフレーズ等の発表会の様子

4月~9月 ■ NIPPONフェスティバル開催

「東京2020 NIPPONフェスティバル」は、東京2020大会の公式文化プログラム。世界の注目が集まるこの時に、日本の誇る文化を国内外に強く発信します。多くの人々が参加できる機会も増え、大会に向けての期待感も最高潮に! 自治体等と共にオールジャパンで盛り上げます。*P5にも注目情報があります。

<キャッチフレーズ>

Blooming of Culture

文化は、出会いから花開く。



東京2020
NIPPON
フェスティバル

<フェスティバルマーク>
大会エンブレムの制作者である
野老朝雄さんが開発。

INFORMATION 詳細は公式サイトをチェック!

東京2020組織委員会の公式サイトを見れば、東京2020大会の“今”がわかります。随時更新していますので、ぜひ確認してみてください!

「ID登録」は東京2020への第一歩

「TOKYO 2020 ID」を登録すると、チケット情報をはじめ、イベント、公式ライセンス商品、ボランティアなどの最新情報がメールマガジンで届きます。チケットを「東京2020大会公式チケット販売サイト」で購入するためにも必要ですので、まだの方は早目にご登録ください。



<https://tokyo2020.org/jp/>

テストイベントで準備も着々と



© 2015 / IOC

大会本番に向けて、運営の確認や改善を行います。それに伴い、各国・各地域の選手も続々来日。自治体等では選手の歓迎や交流イベントも検討されています。

お出かけシーズン到来!

東京2020の種を見つけに行こう!

暖かくなり、外に出たくなる気持ちのよい季節がやってきました。まちの中には、1年後に迫った東京2020大会を感じられるものがどんどん増殖中!今回は、オリンピック・パラリンピックについて学べたり、気軽に体験できるイベントやスポットを紹介します。家族や友達同士など、みんなで出かけてみて!



写真提供:パナソニック

<パナソニックセンター東京>

住所:東京都江東区有明3丁目5番1号

*開館時間などの詳細については、ホームページをご確認ください。

オリンピック・パラリンピックを楽しく学べる!

パナソニックセンター東京

オリンピック・パラリンピックは、スポーツはもちろん、平和でよりよい世界の実現をめざす精神など、知れば知るほど奥深いもの。パナソニックセンター東京は、オリンピック・パラリンピックを楽しく学ぶことができる体験型の施設です。クイズや体験を通じて楽しくオリンピックやパラリンピックを学べる“Active Learning Camp”のほか、美しい演出とともに日本を知る「文化」コーナーや、スポーツライティングなど東京2020大会の追加競技を体感できる「スポーツ」コーナーなど盛りだくさん。展示には最新のデジタル技術が施され、2020年への期待感を高めてくれます。見て、触って、考えて、大人も子どもも楽しめます!



ドラマと一緒に楽しもう!

筑波大学 嘉納治五郎・金栗四三 特別展

柔道の創設者であり、アジア初のIOC委員となった嘉納治五郎。オリンピックに日本人として初めて出場した金栗四三。NHK大河ドラマ「いだてん」でも知られるこの2人の展示が、縁の深い筑波大学で実施中。ドラマが一層面白くなる!

*筑波大学他に2019年12月25日(水)まで開催中。



画像提供:筑波大学

筑波大学
サテライトオフィス
及びつくば市交流サロン
(BiVi つくば内)において、
NHKサービスセンター
主催によるNHK大河
ドラマ「いだてん」展を同
時開催しています。



画像提供:JAL

空港で東京2020マスコットがお出迎え!

特別塗装機「みんなのJAL2020ジェット」就航!

空の玄関口である空港では、到着ロビーやショップなどで東京2020マスコットに出会えます。現在、東京2020マスコットを描いた「みんなのJAL2020ジェット」1号機がJAL国内線で就航中。機内ではヘッドレストカバーや紙コップにも東京2020マスコットが! 見るだけでなく、一緒に空の旅を楽しめます。

はじめての競技も体験できる！

東京2020 Let's 55 with 三井不動産

「東京2020 Let's 55」は、東京2020大会が開催される2020年までに全55競技を体験するプロジェクト。これまでも各地で実施されてきました。はじめてのスポーツを気軽に体験できたり、憧れのアスリートと触れ合ったり。スポーツの魅力を感じることのできる場になっています。5月の連休中には、ららぽーと豊洲で実施。買い物ついでに出かけてみて！

- ・開催時期 2019年5月3日(金)～5日(日) 11:00～18:00
- ・開催場所 三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲



2018年8月に実施した「東京2020 Let's 55 with 三井不動産」



東京2020オフィシャルショップ 福島店

東京2020を身近に楽しむなら！

東京2020オフィシャルショップ

大会エンブレムやマスコットをあしらった文房具や雑貨、応援商品など、自分の手元に置いておけば、やっぱり大会気分が盛り上がります！3月13日(水)には、福島市で「東京2020オフィシャルショップ 福島店」がオープン。東北初出店で、全国11店舗目の常設店となりました。公式ライセンス商品「伝統工芸品コレクション」の販売もしています。ぜひ店頭で見つけてみてください！

白河だるま(金)

「鶴亀松竹梅」が顔の中に描写されているのが特徴。必勝祈願の縁起物です！



南部鉄器 風鈴5個セット



世界的に人気の「南部鉄器」で作られた風鈴。オリンピックシンボルカラーで色付けています。



東京都主催 ～見よう!知ろう!体験しよう!～
東京2020オリンピック競技大会 新種目「ボルダリング」に挑戦

＼参画プログラムに行ってみよう！／

東京2020組織委員会では、大会ビジョンのもと、スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を越えた活動、被災地への支援などのイベントや取組みを「参画プログラム」として認証しています。全国各地で実施されていますので、[東京2020参画プログラム特設サイト](#)からぜひ検索してみてください。身近で行われている取組みを新たに知って驚くかも!?



URL:<https://participation.tokyo2020.jp/jp/>

参画プログラムの集大成「東京2020 NIPPONフェスティバル」

聖火リレーが始まり、世界からの注目が東京・日本へ大きく集まる時期に、国・自治体・文化団体等と連携し、日本の文化・芸術の力を国内外に発信する文化フェスティバルを全国で展開します。東京2020組織委員会が主催の4つの文化プログラムと、自治体等と共催で行う特別な文化プログラムがあります。

■ 組織委員会が主催の4つの文化プログラム

[2020年4月] 大会に向けた祝祭感	[オリンピック直前] 参加と交流	[パラリンピック直前] 共生社会の実現	[2020年5月から7月] 東北復興
東西を代表する無形文化遺産・舞台芸術(歌舞伎とオペラ)の融合による世界初の舞台を2020年の東京で実現。市川海老蔵さんとブラッド・ドミンゴさんが出演予定!	日本文化を通じてさまざまな人々が交流する場・イベントを創出。世界の心をつなげるフィナーレに。	障がいのある人やLGBTを含めた多様な人々が参画し、街中でさまざまなアートやパフォーマンス活動などを展開。クリエイティブディレクターは小橋賢児さんです。	東北各県と連携し、東北各地・東京を舞台とした文化プログラムを展開。国内外へ東北の現在の姿を発信。クリエイティブディレクターは箭内道彦さんです。



市川海老蔵さん



ブラッド・ドミンゴさん



小橋 賢児さん



箭内 道彦さん

*詳細については、公式サイトをご覧ください。

＼絶景も観戦も楽しめて、一粒で二度おいしい／

2020の夏は、富士山が熱い!

富士スピードウェイがスタート・ゴール地点になるパラサイクリング。
日本が誇る名峰・富士山の大自然を楽しみながら観戦できるスポットです。
競技はもちろん、アウトドアや旅行が好きな方にもおすすめ!

まずは
ココから!

パラサイクリングって何?

パラサイクリングは、屋外で長距離を走破する「ロード」と、傾斜のある一周250mの屋内コースを使用する「トラック」があります。障がいによって4種類の自転車を使用するのが特徴で、ロードでは、「ロードレース」「タイムトライアル」「チームリレー」の3種目があります。



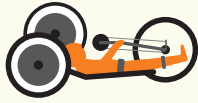
①二輪自転車

健常者の自転車とほぼ同じ。障がいに合わせて自転車の最小限の改造も。



②三輪自転車

体幹に障がいがある選手が使用。左右に倒れにくく、バランスがとりやすい。



③ハンドサイクル

下半身に障がいのある選手が手で漕ぐ自転車。仰向けと前屈みで乗るタイプがある。



④タンDEM自転車

前方に座る晴眼者がハンドル操作を担う視覚障がい者向けの二人乗り自転車。

ココが
見どころ!



ロードレースの見どころガイド

パラリンピックのロードレースでは、1周約13.2kmのコースを周回します。(クラスごとに周回数は異なります。)レースでは、先頭の選手が強力な空気抵抗を受けます。そのため、できるだけ他の選手の後ろで空気抵抗を避け、体力を温存。ここぞという場面で一気に仕掛けます。

東京2020大会の魅力を

フカボリ!

東京2020大会をより一層楽しむために競技や競技会場、アスリートなどさまざまな情報をフカボリ! します。

今回のテーマ

パラサイクリング (ロードレース)

パラリンピック競技の中で最速! 身近な乗り物だけど奥が深い自転車。その魅力に迫ります。

この人に聞きました!

一般社団法人日本パラサイクリング連盟
専務理事 権丈 泰巳さん



「世界の強豪選手達は純粋に自転車に乗ることを楽しんでます。自転車の楽しさを伝えるのが仕事です。」

注目選手
から
ひと言!

川本 翔大さん
(かわもと しょうた)



下りから勢いをつけて上りになるコースがポイントになると思います。上りはちょっと苦手意識がありますが、この1年でしっかり練習して自信をつけて臨みます! ロードもトラックもできるだけたくさんメダルを取りたいですね!

もうひとホリ!

ピクニック気分で
観戦できる!

周回レースの魅力は何度も選手を見るチャンスがあること。コースを移動しているいろいろなポイントから応援することもできます! 屋外ならではの観戦を楽しんで!



Fuji International Speedway
富士スピードウェイ
住所:静岡県駿東郡小山町中日向694



観戦スポット① ゴール前

最後に限界ギリギリで飛び込んでくる選手たちのスプリントは迫力満点。特に富士スピードウェイは、ゴール前のメインストレートが長いことで知られています。

観戦スポット② 上り

登りは重力との戦い。体重が軽い選手ほど有利に。小柄な選手が軽やかに駆け上がり大柄の選手を大逆転する、なんてドラマチックな展開も期待できるエリア。

観戦スポット③ 下り

下りはまさに命がけ。選手の度胸と技術が問われます。高速で走り抜ける迫力を身近で体感! 自転車ごとに異なるハンドルテクニックにも注目です。



本コースについては、大会運営上の事由等により、変更される場合があります。

©Tokyo 2020 ©2018 ZENRIN CO., LTD.

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-620号)
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平29情使、第445-337号)



知れば納得！ 聖火リレートーチのこと。



聖火がギリシャから日本に到着するちょうど1年前にあたる3月20日(水)に、オリンピックのトーチデザインが発表になりました。大会ごとに個性的なデザインが注目の聖火リレートーチですが、機能面や生産体制なども重要です。いくつものハードルをクリアして採用された東京2020大会の聖火リレートーチは、どのようなものなのでしょうか?その一部をご紹介します!

POINT

2020年の聖火リレートーチは、日本人に最もなじみ深い花である桜がモチーフです。時間や季節、気候、地域によって大きく変化する日本の環境の中で、美しく、力強い炎を灯し続けるために、さまざまな工夫が凝らされています。

美しく、燃え続ける炎

東京2020聖火リレートーチは、聖火のかたちもデザインされています。花びらから生み出された5つの炎は、トーチの中央でひとつとなり、より大きな輝きで「希望の道」を照らします。聖火を灯す燃焼部には、聖火を保ち続けるために、火力の強い青い炎と、火のない燃焼(触媒燃焼)の2つの燃焼が、聖火の赤い炎を支える仕組みが採用されています。

復興への想いと持続可能性への配慮

東京2020聖火リレートーチの素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用※しています。人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとして聖火リレートーチに姿を変え、一步步復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。

※東京2020聖火リレートーチに用いられている再利用アルミの含有率は約30%です。



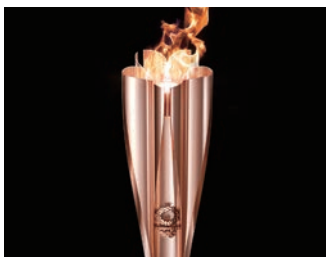
伝統と現代技術の融合

日本のかたち、桜紋。東京2020聖火リレートーチは、その伝統的な形を、新幹線の製造にも使われている製造技術(アルミ押出成形)を用いて形作っています。継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。日本の伝統と高い技術力がひとつになることで生み出された、東京2020聖火リレーを象徴するかたちです。

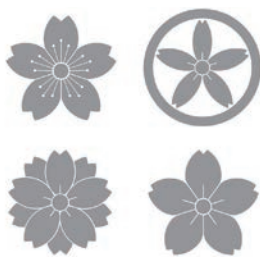
すべての人のためのトーチ

東京2020聖火リレートーチは、重さや握りの形状にも配慮しています。年齢や性別を問わず、誰にとっても扱いやすいトーチです。

東京2020パラリンピックトーチ
(桜ピンク)



東京2020オリンピックトーチ(桜ゴールド) 桜紋



仮設住宅の廃材を再利用



トーチ製造過程

◆トーチの仕様

全長:710mm
本体重量:1.2kg(本体約1kg+燃焼部200g)
色:桜ゴールド(オリンピックトーチ)・桜ピンク(パラリンピックトーチ)
主な素材:アルミニウム
(仮設住宅由来の再生アルミニウム約30%を含む)

◆トーチ制作者と各社の担当分野

企画・デザイン・総合監督:吉岡徳仁デザイン事務所
トーチ筐体:株式会社UACJ押出加工
素材:株式会社LIXIL
燃焼機構:新富士バーナー株式会社
燃料・燃料ポンプ:ENEOSグローブ株式会社

<表紙の写真>

写真左)東京2020聖火リレー公式アンバサダーに就任したオリンピック3連覇の柔道家、野村忠宏さん。自身の母が東京1964大会で聖火リレーを走ったエピソードなどを披露し、「聖火リレーの魅力を一杯伝えたい。」と意気込みを語りました。

写真右)トーチの企画・デザインを担当した吉岡徳仁さん。ガラスの茶室などで知られる世界的に活躍しているデザイナーです。吉岡さんは「被災地の方々の「心の復興」と平和への願いを込めデザインしました。被災地の子どもたちとみんなで、桜のエンブレムを描いたことがきっかけです。」と想いを語りました。



3月20日(水)記者発表会にて

たくさんのご応募ありがとうございました! 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた ポスター募集企画の表彰式を行いました

東京2020組織委員会は、全国の小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部、海外の日本人学校の児童・生徒を対象として、ポスターを募集しました。テーマは「東京2020マスコットと〇〇」。〇〇の部分には、身近な“モノ”や“コト”を入れて、自由な発想で描いてもらいました。

全国から応募総数31,719点、代表作品数1,980点が集まり、金銀銅谷口賞等が決定。思い思いにマスコットが躍動する、東京2020大会への想いの詰まった作品が選ばれました。

3月29日(金)にはパナソニックセンター東京で表彰式を実施。当日は、アスリートの廣瀬佳司さんや田口亜希さん、マスコット作者の谷口亮さんなどが表彰式に参加し、森喜朗会長から受賞された皆さんに、表彰状などが授与されました。



Photo by Tokyo 2020

パナソニックセンター東京で行われた表彰式の様子

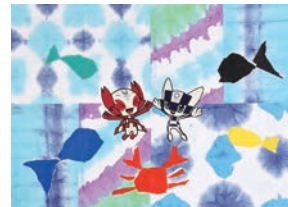


*敬称略

(金賞)

有村 美空

埼玉県 戸田市立戸田南小学校
5年



(金賞)

大草 雄

熊本県立苓北支援学校小学部
5年



(金賞)

田平 理湖

愛知県 名古屋市立高杉中学校
2年



(金賞)

岡田 京介

小林 吉輝
東海林 和人
高橋 陸

山形県立新庄養護学校小学部
2年

子ども向け公式サイトができました!

東京2020組織委員会では、東京2020大会についての子ども向けの情報を集めたウェブサイト「TOKYO 2020 for KIDS」を開設しました。オリンピック・パラリンピックやスポーツに関するニュースやクイズ、イベント情報を随時お届けします。また、大会に向けたさまざまな盛り上がりに合わせて特集なども予定しています。子どもたちが知って学んで楽しめる、新たなコンテンツの拡充を図っていきますので、ぜひご訪問ください。

*オリンピック・パラリンピック教材等をご紹介する教員向けページはこちら→ <https://education.tokyo2020.org/jp/>

<https://tokyo2020.org/jp/special/kids/>



The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Gold Partners



Tokyo 2020 Official Partners

